

会報 長事研

長与町立長与小学校内
発行責任者 上戸 健
2013(H25)年10月15日発行

全事研石川大会開催！！

8月6日から9日までの3日間、石川県金沢市の石川県立音楽堂を主会場に第45回全事研石川大会が開催されました。全国から1800名を超える事務職員の参加者がありました。(長崎県からは16名の参加)

また、8月5日には平成25年度の全事研定期総会が石川県立音楽堂内の邦楽ホールで開催されました。総会には、上戸会長と森副会長が出席いたしました。本号は、総会の概略と、全事研石川大会参加者の感想を中心にお知らせいたします。

《全事研総会報告》

冒頭の横山会長の挨拶では、新理事の紹介の後に、48番目の支部として沖縄支部が発足したことの報告がありました。沖縄支部からは、60余名と少ない会員ではあるが頑張りたいと挨拶がありました。これで、九州地区の支部も8支部となりました。また、文科省優秀教員表彰制度の対象に事務職員も加わり、名称も優秀教職員表彰制度に変更になったことも報告がありました。事業説明の中では、本年度の取り組みとして、京都教育大学が実施する文科省委託事業「学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究」への協力と「学校事務のグランドデザイン」のリニューアルに取り組むことが報告されました。

総会では、以下の内容について審議され承認されました。

- 1 事業報告 2 決算報告及び監査報告 3 会長・副会長及び監査の選出 4 常任理事の承認 5 事業計画(案) 6 予算(案)

本年度役員

会長・横山泉氏(静岡支部)
副会長：鳥本安博氏(兵庫支部) 小林円氏(神奈川支部)
松本信幸氏(静岡支部) 平木雅万(熊本支部)
監査：木村敦子氏(石川支部) 橋本仁宏氏(静岡支部)
理事：事務局長 平岡明晴氏(神奈川支部)
財務部長 竹田修氏(埼玉支部) 情報推進部長
松野千恵美氏(新潟支部) 研究開発部長 阿部貴子氏(岩手支部)

事業計画では、活動目標・活動の柱・活動計画が提案されました。主な行事の日程は以下のとおりです。

評議員会：平成26年2月13日(木) 川崎市
定期総会：平成26年8月5日(火) 静岡市
全事研セミナー：平成26年2月14日(金)
場所 川崎市教育文化会館

学校マネジメントフォーラム(文科省との共同開催)：
平成25年11月8日(金) 場所 文部科学省

総会では、議事に先立ち功労者の表彰が行われました。表彰では、伊藤義幸氏(宮城支部)他計6名の方々に感謝状が贈られました。

《全事研研究大会報告》

<開会式>

今井真也大会実行委員長から「石川のおもてなしの心でお迎えます。参加者一人一人の思いをつなぐ会にしましょう。」との挨拶で研究大会が始まりました。開会式では、谷本石川県知事、山野金沢市長がご出席され、それぞれに、お祝いと歓迎の言葉を述べられました。

<文科省行政説明>

文部科学省初等中等教育局

主任視学官 西辻 正副 氏

- 1 第2期教育振興基本計画
- 2 教育再生実行会議について
- 3 学習指導要領について
- 4 教員の資質能力の向上について

<全体研究会>

- ・基調報告：第7次研究中期計画で行ってきた4年間の年次別課題と研究の成果についての報告があり、それをもとに本研究会での更なる討論を期待したい。
- ・「学校事務のグランドデザイン」についての5年間の成果と課題が示され、今後は新しいグランドデザインの策定にむけて動きだしていきたい。

<シンポジウム>

テーマ：「新しい時代の事務職員の在り方や実現のための戦略」

3名のシンポジストから学校事務のグランドデザインのあらたな戦略づくりについて意見が交わされました。

<参加者感想>

- 全国的にも、学校事務が大きな転機にあることを実感させられました。若い世代が希望を持てるような学校事務になるようになればいいのですが
- 全事研に参加すると全国には、多くの学校事務職員がいることをあらためて感じます。
- 期待?に反して金沢駅周辺は近代的で、会場となった石川県立音楽堂は駅のすぐ横というとても便利な立地で、建物もすごく立派でした！！

研修会1日目には大ホールでのパイプオルガンの生演奏も行われ、初めて聴くパイプオルガンの荘厳な音色に感動！！

今年の大会では、全国 1,857 人の会員が集い、熱い研修がスタートしました。文科省の行政説明では、初等中等教育局主任視学官 西辻正副氏による現在と今後の日本の教育についての講演があり、中央の動きが直に聴けるという機会に恵まれ、大変勉強になりました。

全体研究会では、全事研研究開発部長の阿部貴子氏が基調報告「第7次研究中期計画 5年間のまとめ」として報告されました。福岡大会から始まり、徳島、鳥取、茨城、そして石川大会で総括報告がされました。成果と課題の確認をして、その後のシンポジウムでは、「学校事務のグランドデザイン」として今後の方向性を協議されました。県によって、また地域によって私達事務職員のおかれた立場に違いはありますが、こどもの豊かな育ちを支援する学校事務を目指して進んでいければと思います。

<分科会>

第1分科会（栃木支部）

イノベーション！質の高い教育の実現を目指して
- 学校経営ビジョン実現に迫るとちぎの基本戦略 -
<参加者感想>

○分科会に参加して（第1分科会）

研修会2日目は第1分科会の栃木支部に終日参加しました。栃木では事務職員の資質の向上を図る事によって、その力量を学校現場で発揮し、学校経営や学校改善に結び付けていこうと考え、「研修の体系化」を目指し、目標達成に向けての取り組みがなされていました。

全事研の3日間に亘る充実した研修会に参加し、改めて今の自分に出来る事は何かを考える良い機会となりました。また実行委員会の方々の努力と気配りで、4日間の金沢滞在をとっても充実した気分を終えることが出来ました。このように全国の仲間達と会することが出来るのは全事研だけなので、今後も機会があれば是非参加したいと思いつつながら帰路につきました。

第2分科会（富山支部）

仲間とともに学校事務ビジョンの共有と実現を目指して

- 協働開発中！とやまのくすりで学校パワーアップ -

第3分科会（福井支部）

「気づき」からはじまる、イノベーション！
- つながり行動しよう子どもたちの笑顔のために -

第4分科会（新潟支部）

地域とともに学校を創造する学校事務の追求
- 「研究基本要領2011」からのアクション -

○分科会に参加して（第4分科会）

いよいよ熊本大会まであと2年ということで、今回の参加の主目的を「“分科会のあり方・運営”について学ぶ」ということに主眼を置いて、第4分科会・新潟支部の発表を見させていただきました。

研究発表は、パワーポイントを中心に、時々個人の仕事に関する報告等をはさみながら、特に派手さのない通常の発表形式で進めていました。このところ分科会がだんだん華美になりつつあるのが気になっていたもので、少し安心したところです。長崎県で持つ分科会も無理な演出を考え

なくても行けるかな、と安堵したところです。

研究内容については『研究基本要領2011』を基に、全事研の研究の流れを組入れながら、県下各地域の特色を生かした取組を中心に紹介していました。助言者とも長年の共同研究で、息の合ったやり取りを感じました。

目的の達成はできましたが、内容の中で県教育行政の一環として『総括事務主幹制度』の新設等、県教委と足並みを揃えた教育行政が進められており、全国的に見てもこの傾向が見られる事で、これからの長崎県の学校事務制度にどう影響するのか、されないのか、私たちがどう舵取りをするのか、これからの人たちに託される課題かなと感じました。

第5分科会（石川支部）

学校経営ビジョンの実現と学校事務
- 財務から学校経営参画をめざして -
(参加者感想)

○分科会に参加して（第5分科会）

・内容は、石川県内の3支部の実践発表でした。学校予算をとおして、どのように教育に関わっていったか（関わっていくか）というものでした。校内予算委員会について研究をおこなったり、身近なところから学校事務を変えていこうという意気込みが伝わってくる大変有意義な発表でした。若い事務職員の方ばかりでしたが見習うことが多くやる気をいただきました。また偶然にも日渡先生が指導助言されましたが、的確な助言に大変参考になりました。前向きな石川県の事務職員の力を感じました。

・私が参加した第5分科会は財務からの学校経営参画がテーマでした。一部にはこれは無理だろうというものがありました。全体的には大きく構えずにできることを着実にやっという姿勢があり十分参考になりました。

・8月7日から9日の日程で開催された全事研金沢大会に参加しました。金沢市は、思っていたより広い平野で県庁周辺の広大な駐車場や会場付近の庭園などゆったりとした環境が少しうらやましくなりました。また、海産物も豊かでとても美味でした。



<会報連絡先>

<会報連絡先>大村市立西大村小学校：田平毅

TEL 0957-53-2670 FAX 0957-53-2671